

土木学会論文報告集

No. 225, 1974-5

軸力と曲げおよびねじりを受ける薄肉断面部材……………	西倉長奥	野方川村	文慶彰敏	雄夫夫恵	1
海浜流系の発生理論……………	日野	幹雄			17
任意形状の透過および不透過防波堤による波の散乱……………	井周湯	島村	武宗や	士仁す	31
暗きょからの淡水注入による淡塩境界面の解析……………	上杉	田尾	年比古哲		43
飽和粘土の応力-ひずみ-時間関係……………	赤尾安	井立藤	浩紀信	一尚夫	53
沈下予測に関する統計的考察……………	松浅	尾岡		稔頭	63
高速道路における流出制御の効果を考慮した 最適検知器数の決定……………	奥中	谷浜	昭	巖人	75
ケミカルプレストレスを導入する鉄筋コンクリート 管の拘束条件に関する研究……………	飯門	田司	秀雄	雄唱	85
膨張性セメント混和材を用いたコンクリートの 標準試験方法に関する研究……………	国小長岡町	分林滝村田	正重篤	胤几義甫彦	93
ケミカルプレストレスを導入したコンクリート 部材の力学的特性……………	岡辻	村幸		甫和	101

【討 議】

吉田本 芳 博 宏 共著 “拘束をうけるはりの弾性および非弾性 横倒れ座屈解析” への討議	……………	討議者	宇佐美 勉	……………	109
……………	……………	回答者	吉田 芳 博 宏	……………	110

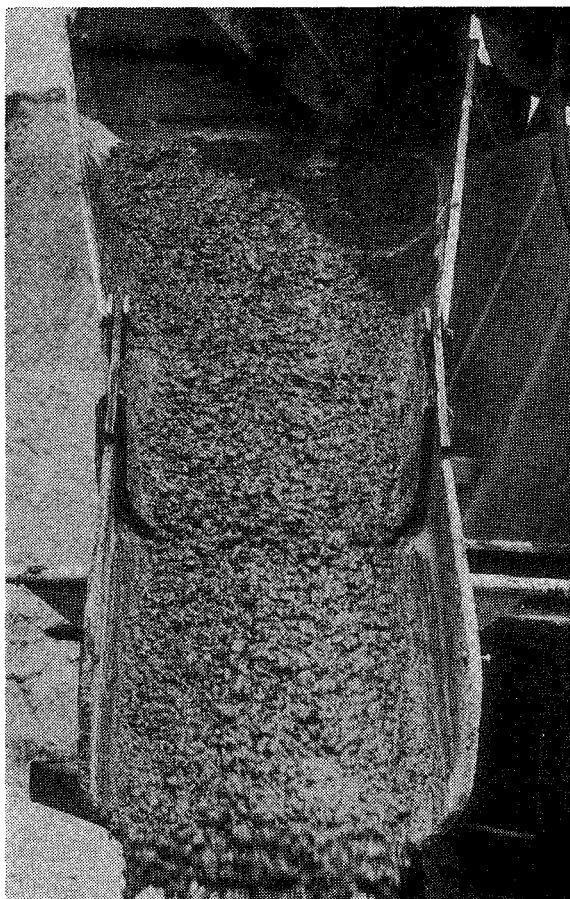
混和剤は個性を持っています。

選択にはキビシイ目で……………

混和剤は各銘柄ごとに個有の使用量や使用方法、そして効果を持っています。このため使用時には、そのつど比較試験が行われるわけです。

混和剤は、その特性を十分に認識して使うことが必要です。ですから、ただ一度だけの試験結果で混和剤の性能を定めることなどは危険です。過去のデータ、研究発表、使用実績、使用方法の簡便さ、危険度、その混和剤が十分に管理された状態で生産されているか(品質の均一性)など、総合してその特性価値や性能を判断してください。混和剤は、混和剤に適合する使用を行ってこそ、その有効な使用が可能です。

混和剤は正しく用いてください。



信頼のブランド



ポゾリス物産株式会社

本社 東京都港区六本木3-16-26 (582) 8811
 東京・大阪・名古屋・広島・福岡・仙台
 札幌・上越・高岡・宇都宮・千葉・静岡・高松

PROCEEDINGS OF THE JAPAN SOCIETY OF CIVIL ENGINEERS

No. 225 May 1974

C O N T E N T S

Thin-Walled Members Under Axial Force, Bending and Torsion <i>By Fumio Nishino, Yoshio Kurakata, Akio Hasegawa and Toshie Okumura</i>	1
Theory on Generation of Shore-Current System <i>By Mikio Hino</i>	17
Scattering of Waves by Permeable and Impermeable Breakwater of Arbitrary Shape <i>By Takeshi Ijima, C.R. Chou and Yasu Yumura</i>	31
Fresh-Salt Water Interface Formed by Fresh Water Injection Conduit in Coastal Aquifers <i>By Toshihiko Ueda and Satoru Sugio</i>	43
A Stress-Strain- Time Relation of Satulated Clays <i>By Koichi Akai, Toshihisa Adachi and Nobuo Ando</i>	53
A Statistical Approach to Settlement Prediction <i>By Minoru Matsuo and Akira Asaoka</i>	63
Determination of the Optimum Number of Vehicle Detector Considering the Effect of Discharge Control on an Expressway <i>By Iwao Okutani and Akihito Nakahama</i>	75
Study on the Optimum Restraint of Self-Stressed Concrete Pipe <i>By Hideo Iida and Tono Monji</i>	85
Study on Standard Tests for Concrete with Expansive Components <i>By Masatane Kokubu, Masaki Kobayashi, Shigeyoshi Nagataki, Hajime Okamura and Atuhiko Machida</i>	93
Behavior of Chemically Prestressed Concrete Member <i>By Hajime Okamura and Yukikazu Tsuji</i>	101

The Japan Society of Civil Engineers

Yotsuya 1-chome Shinjuku-ku, Tokyo

JAPAN

土木学会論文報告集投稿要項要約

1. 投稿者：本会会員，ただし連名の場合は1人以上が会員であること。
2. 原稿提出期日：随時
3. 原稿の書き方について：土木学会投稿の手引き第3章参照。
 - 提出部数：正原稿（図・表・写真とも）および複写3通。
 - 図表について：正図はそのまま製版できるよう白か透明の紙に縮尺を考慮して必ずスミ入れする（線図・文字・符号などすべてスミ入れすること）。
 - 表は原則として活字で組むが，表の中に図が入る場合，複雑な表はすべてスミ入れするものとする。
4. 論文報告の長さ：論文報告1編の長さは原則として刷上り図表を含み10ページ以内とする。ただし，6ページまでの超過は認めるが，その費用はすべて著者の実費負担とする。
5. 和文要旨について：和文要旨は図・表・写真を含み刷り上り0.5ページ（800字～900字）として3部提出する。なお，投稿の手引き（6ページ）に記述してある「7. 欧文要旨」は現在必要ありませんのでお含みおき下さい。
6. 討議について：討議は土木学会論文報告集に掲載されたものを対象とし，論文報告集掲載後6カ月以内を原則とする。
7. 査読について：査読は次の5部門で行うので投稿原稿はどの部門に属するかを明記する。
 - 第1部門：応用力学・構造力学・構造工学・橋梁一般・鋼橋等
 - 第2部門：水理学・水文学・河川工学・港湾工学・海岸工学・発電水力・衛生工学等
 - 第3部門：土質力学・基礎工学・岩盤力学等
 - 第4部門：道路工学・鉄道工学・交通計画・都市計画・国土計画・測量等
 - 第5部門：土木材料・土木施工法・コンクリートおよび鉄筋コンクリート工学等

土木学会論文集編集委員

◎ 印 主 査 ○ 印 幹 事

委員長	久野 悟 郎	副委員長	◎ 稲 田 倍 穂	委員	椎 名 彪	委員	堀 江 興
委員	秋山 成 興	委員	◎ 奥 山 村 育 英	委員	銚 川 登 男	委員	堀 川 浩 甫
〃	赤松 義 央	〃	〃 奥 山 村 正 樹 郎	〃	田 中 康 之	〃	堀 北 武 志
〃	足立 義 雄	〃	〃 片 山 恒 雄 (総括幹事)	〃	田 中 康 之	〃	堀 前 田 利 彦
〃	綾 日 出 教 夫	〃	〃 〇 片 山 恒 雄	〃	〇 田 中 康 之	〃	〇 松 本 元 彦
〃	石 沢 成 夫	〃	〃 〇 神 田 村 徹 孟	〃	◎ 武 田 昭 信	〃	〃 御 子 柴 光 春
〃	坂 倉 忠 興	〃	〃 〇 木 村 大 三 勇	〃	〇 玉 井 信 昭	〃	〃 三 浦 尚 裕
〃	市 川 紀 昭	〃	〃 菊 田 征 義	〃	◎ 土 屋 村 文 宏	〃	〃 宮 田 尚 彦
〃	岩 松 幸 尚	〃	〃 北 原 清 浩	〃	〃 中 村 文 雄	〃	〃 宮 村 井 上 治
〃	宇 野 尚 雄	〃	〃 小 原 清 義	〃	〃 西 野 文 隆	〃	〃 〇 森 上 地 茂
〃	江 刺 靖 行	〃	〃 小 森 修 藏	〃	〃 西 岡 隆 宏	〃	〃 〇 森 上 地 茂
〃	枝 村 俊 郎	〃	〃 佐 武 正 雄	〃	〃 橋 本 良 輔	〃	〃 〇 森 上 地 茂
〃	小 川 紀 生	〃	〃 佐 鳥 悦 久	〃	〃 松 本 良 輔	〃	〃 〇 森 上 地 茂
〃	小 川 正 二	〃	〃 〃 藤 健 次 郎	〃	〃 松 本 良 輔	〃	〃 〇 森 上 地 茂
〃	大 内 雅 博	〃	〃 〃 藤 健 次 郎	〃	〃 松 本 良 輔	〃	〃 〇 森 上 地 茂
〃	大 内 明	〃	〃 〃 藤 健 次 郎	〃	〃 松 本 良 輔	〃	〃 〇 森 上 地 茂
〃	◎ 岡 内 功	〃	〃 〃 藤 健 次 郎	〃	〃 松 本 良 輔	〃	〃 〇 森 上 地 茂
〃	岡 村 隆 夫	〃	〃 〃 藤 健 次 郎	〃	〃 松 本 良 輔	〃	〃 〇 森 上 地 茂

土木学会論文報告集 No. 225

定価 450 円 (〒 40 円)

昭和 49 年 5 月 15 日 印刷

昭和 49 年 5 月 20 日 発行

発者行 東京都新宿区四谷1丁目

社団法人 土木学会 専務理事 下村 肇

発行所 社団法人 土木学会 郵便番号160 東京都新宿区四谷1丁目 振替東京16828番
電話 (03) 351-5138

印刷所 東京都港区赤坂 1-3-6 技報堂